

あいあい通信



Matsuda Hospital

AIAT-TSUSHIN

2013.5 Vol.

53

◆院長の一言メッセージ

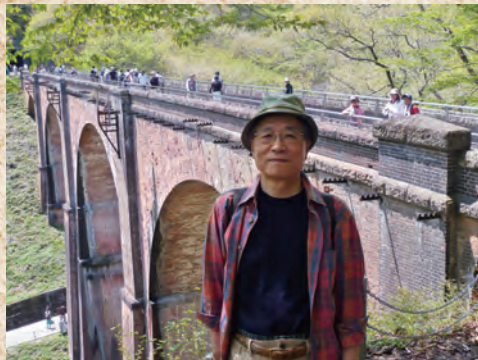
フレッシュな診療体制ができました！

院長 松田 保秀

今年2週間も早い桜の開花で、お花見のスケジュールが合わずがっかりされたのではないのでしょうか？しかし、同時に美しい自然を満喫できる華やかな季節になり、レクリエーションや旅行など楽しみが一杯溢れています。

新年度が始まって1ヶ月、徐々に軌道に乗りつつありますが、今年度は19名もの各部署の新入職員を迎え、院内にははち切れんばかりのエネルギーが満ちています。同時に病院の体制を刷新しましたので、ご挨拶をかねてお知らせいたします。

副院長 長 松田保秀
院長 長 川上和彦
診療部長 長 中井勝彦
外科部長 長 川上和彦
検診部長 長 田中荘一
肛門病センター長 長 松田保秀
IBDセンター長 長 中井勝彦
ヘルニアセンター長 長 野中雅彦
内視鏡センター長 長 尾田典隆



るALTA療法(注射療法)の進化した術式、複雑痔瘻の括約筋温存手術、胃大腸ESDパワーアップ、大腸癌における腹腔鏡手術導入、直腸脱前方固定術導入、通院での癌化学療法室新設、潰瘍性大腸炎・クローン病における抗TNF- α 療法の推進、1泊ヘルニア手術、大腸肛門機能障害研究会に準じた便秘・排便障害外来が挙げられます。

また、世界的に有名な工藤進英教授の教室から週2回、内視鏡専門医が来ています。浜松医大や当院の医師と併せて内視鏡検査での色素散布・拡大観察、NBI観察など精密で高度な診療が行なわれています。

ごく最近の話題を2つ。1つ目は、当院が以前から力を入れております**慢性便秘に対する新薬**が発売されました。すでに日常診療で汎用しており、今後の有用性が期待されています。しかし、排便障害は単なる便秘ばかりではなく、肛門の出口で便が出ないという「排泄障害型の便秘」や、実際に大腸が狭くなっている「大腸癌」なども含まれていますので精密検査が必要です。

2つ目は、特集にもありますように2月末から**内視鏡で胃炎と診断された方に対して、保険診療でピロリ菌の検査や除菌**ができるようになります。除菌は胃癌の予防に繋がりますので、お気軽にご相談下さい。

最近の医療は特に、安心・安全・正確・短期・安価という医師にとってはストレスが多く難しい診療内容が要求されています。当院では可能な限り集中して精神を研ぎ澄まし、ご期待に添えるように対応して行く決意です。今後ともご理解とご支援、ご協力をお願い申し上げます。

さらに、4月までに医師歴10年の外科医3名が新たに着任しました。何れも若さと実力を兼ね備えた即戦力の外科医達です。フットワークがよく、救急患者にも臨機応変に対応できる体制ができたと思っています。また昨年12月から、私の息子である東邦大学外科医の松田聡が、毎週火・水曜日に来浜し、当直・診療に従事しております。将来的な世代交代も含めて当院の診療体制のフレッシュを始めたので、皆様のご理解とご厚情をお願い申し上げます。

当院診療における最近の進歩では、**内痔核に対する**

副院長より 中井勝彦

4月1日より副院長を拝命しました中井です。平成15年4月に入職し、松田院長、川上副院長とともに潰瘍性大腸炎やクローン病などの炎症性腸疾患の診療を中心に担当してまいりました。今後

はこれまで以上に充実した治療を目指していくとともに、病院の業務が全体として円滑に進むよう努めてまいりますので宜しくお願いします。



ピロリ菌検査、治療の保険適用について

ヘリコバクター・ピロリ菌

最近ではほとんどの方が一度は耳にしたことのあるヘリコバクター・ピロリ菌ですが、これまでは「胃潰瘍」「十二指腸潰瘍」「胃早期癌の内視鏡治療後」など、限られた疾患を有する患者さんしか健康保険で調べることができませんでした。それ以外の患者さんは自費診療（検診）という形で希望する方のみ検査及び治療を行っていて、これには高額な費用がかかっていました。しかし、2013年2月末から「胃炎」を有する患者さんにも保険適用となり、調べるができるようになりました。



ただし、これには内視鏡検査で「胃炎」の診断が必要です。胃炎といってもさまざまですが、主にここで言われる胃炎は「慢性萎縮性胃炎」が対象となるでしょう。これからは、胸やけ、吐き気、腹痛などの上部消化管の症状で、内視鏡検査を受けた際に「胃炎」の診断がつけば同時に、あるいは後日でもピロリ菌検査を受けることができます。

ピロリ菌検査は、内視鏡検査時に胃の組織を一部採取したり、尿素呼吸テスト、尿中抗体測定（検尿）や便中抗原測定（検便）など体に負担の少ない検査ばかりです。

ピロリ菌は胃潰瘍、十二指腸潰瘍、胃癌の発生、再発に関与すると言われてきました。特に近年、ピロリ菌の感染は胃の粘膜を荒らし、慢性胃炎から萎縮性胃炎となり、胃癌発生の母地となることが知られています。感染したほとんどの人が胃癌になるというわけではありませんが、ある人となない人で

は、胃癌の発生頻度はある人のほうが5倍高いと言われています。逆にいえば、ピロリ菌感染のない人は一部の人を除いて、殆ど胃癌にかからないと言って過言ではないかもしれません。実際にピロリ菌陰性の胃癌の人はかなり少ないと思われます。

万が一、ピロリ菌に感染していることがわかれれば**除菌治療**ということになります。ですが、これも保険適用となります。

除菌治療

除菌治療は1種類の制酸剤と2種類の抗生物質を1日2回、1週間服用するだけです。この治療で70～80%の方はピロリ菌を除菌できます。除菌できない場合は、薬を一部変更し、2次除菌を行うことが可能です。これで約90%の方が除菌できます。それでも10%程度除菌できない場合があります（2次除菌までが保険適用となります）。なお、薬の服用により軟便、下痢、発疹、肝機能障害などの副作用や

逆流性食道炎の発症や増悪する場合があります。



検診部長
木村浩三

当院では以前よりピロリ菌検診を行ってきました。今後は保険適用になる患者さんには検査、除菌を積極的に行っていくこととなりますが、保険適用にならない方でピロリ菌検査をご希望される方は、これまで通りピロリ菌検診を受けていただくこととなります。個々の患者さんによつて状態が異なりますので、詳しくは受診時にお問い合わせください。

今後とも皆様の健康の手助けになるように努力していきたいと思っておりますので、気になることやわからないことは気軽になんでもご相談ください。



●新入職員紹介●

今年度は例年にならない19名の職員が新たに加わりました。意気込みを聞きましたので、一部ご紹介いたします。



新入職員オリエンテーションの様子

●看護部 3階病棟 倉田早苗



外科の専門領域に興味があり入職しました。一日も早く消化器疾患についての知識を身に付け、患者さんのための看護を提供できるようにになりたいです。

●放射線部 佐々木美奈



緊張した毎日ですが、あっという間に1ヶ月が過ぎました。自らの技術の向上に励み、患者さんのために誠心誠意尽くしていきたいと考えていますので、よろしくお願いいたします。

●看護部 外来 本間志保



先輩たちの指導の下、必要な知識や技術を1つでも多く吸収し、自分のものとして確実に身につけて、日々成長できるよう頑張ります。

●医事課 山口紗知



受付では「いつでも笑顔で丁寧な！」を心掛け、また医療相談員としても早く患者さんのお役に立てるよう、多くの知識を身に付けていきたいです。

■「治験・臨床試験への取り組み」①

治験事務局 平田哲也

昨年は、京都大学の山中教授がノーベル医学・生理学賞を受賞するという明るいニュースがもたらされました。iPS細胞（人工多能性幹細胞）により、病気や事故で機能を失った臓器などを治療する「再生医療」への道が開かれることになりました。

このニュースを受け、私たちはすぐにでも恩恵にあずかることができると考えがちです。しかしながら、iPS細胞を利用した治療が実用化するには、臨床試験（治験）を行い、人

に対する安全性・有効性を確認していかなければなりません。治験の段階で、新たな効果が見出されることもあれば、有害事象が発現することもあります。

実は、私達が今内服してい

る薬も、様々な患者さんのご協力により世に出たものです。

「ドラッグラグ」という言葉を耳にされたことがあるかもしれません。日本における薬の承認（新薬が医療現場において使用されるまで）は、世界の他の国々と比較すると非常に時間がかかると言われています。その原因の一つに、治験に

協力頂ける患者さんが少ないことが挙げられます。新しい薬は使ってみたけれども、治験は……というのが本音ではないでしょうか？

もし、あなたが新しく発売された薬を内服する機会があれば、その陰に治験に協力された多くの患者さんがいることを想像してみてください。

今回は、もう少し詳しく治験についてお話しします。

※当院では、よりよい治療法の研究開発のため、治験や臨床研究・製造販売後調査等を実施しております。詳しくは治験事務局までお問い合わせ下さい。

▶骨粗鬆症の検査をおこなっています 放射線部 岩月建磨

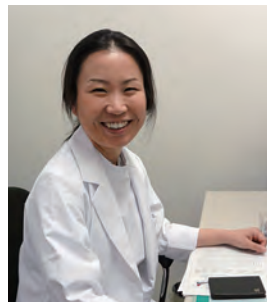
骨塩定量（骨密度）測定装置を最新のものに更新しました。撮影方法は従来通り、前腕を用いてDEXA法という方法で計測します。検査は放射線を用いますので少量の被曝を伴いますが、新しい装置では必要最低限の範囲で撮影を行うため放射線被曝が軽減されました。また検査時

間も15秒程度で、大幅に短縮されました。この検査は骨粗鬆症の発見に役立ちます。骨の健康管理のためにも定期的な測定をおすすめします。検査をご希望される方は、診察の際にお申し出下さい。また、検診での測定も受け付けております。



新任医師紹介

相川佳子 医師



① 東京都台東区です。上野と浅草の真ん中という、下町で育ちました。小学校から高校まで、電車で40分程の女子館という学校で過ごしました。

② O型・さそり座です。

③ 近くに医療従事者はおりませんが、いつの頃からか気付いた時には医療に携わりたいと思っていました。中学の時、担任の先生に言ったら大笑いされた記憶があります。前橋市にある群馬大学を卒業し、東京厚生年金病院の外科で6年間過ごした後、静岡がんセンターで3年間研修し、松田病院へお世話になることになりました。

④ じつとしていたのが嫌いで、何かしら動き回るのが大好きです。静岡に来てからマラソンを始め、シーズンには月に数回ハーフやフルマラソンに参加します。ホノルルマラソンには恒例で参加しています。また、ピアノ、ピアノの演奏をします。三島では市民オーケストラに参加していたので、浜松でも続けていけたらと思っています。

⑤ 浜松は風が強い、このことで大学時代を過ごした前橋を思い出しました。しかし、静岡は気候が温暖で過ごしやすいです。気候と同様、松田病院の職員の皆さんが温かく、またアットホームな雰囲気ですごく素敵です。

⑥ 以前から働きたいと思っており、松田病院に縁あつて来ることでできました。不慣れな部分がたくさんありますが、患者さんの苦痛を少しでも改善できるように、日々励んでいきたいと思っています。よろしくお願いします。

- ① 出身地
- ② 血液型・星座
- ③ 医師になった動機など
- ④ 趣味・ストレス解消法
- ⑤ 浜松・松田病院の印象
- ⑥ 読者へのメッセージ

田島雄介 医師



① 神奈川県厚木市出身です。小学校から高校までの12年間は、横浜の森村学園に電車で1時間かけて通っていました。

② O型・ふたご座です。

③ 小さい頃はよく喘息発作を起こしていて、時は入院して治療を受けていました。その時の担当の先生や看護師さん達の「優しさ」がきっかけで、ここに来ました。

④ 趣味は料理です！ 特にカロリーの高いものを好んで作ります!! あとはラグビーなどの特にボールを使うスポーツが好きで、観戦も好きです。ストレス解消法は、スーパー銭湯に行ってお風呂に入ってからマッサージを受けることです。

⑤ 松田病院は、職員全員が一丸となつて患者さんの治療をする、とてもチームワークの良い病院だと思います。

⑥ 3年前と体型は変わっていませんが、よろしく願います。

後は埼玉医科大学総合医療センターに就職し、3年目に同病棟の消化管・一般外科に入局しました。

実は、3年前に松田病院で働いており、手術・内視鏡検査を研修しました。今回さらに、大腸、肛門疾患の知識、技術の向上を目標に働かせていただきます!!

診療のご案内

●患者様へお願い● 月1回、必ず保険証の提示をお願いいたします。

■ご来院の際には事前に予約をお取り下さい

◇ご予約はお電話でも承ります。◇受診当日のご予約も可能な限り承ります。

外来診療は予約の方を優先させていただきます。予約のない方はお待ちいただく時間が長くなることをご承知下さい。※急患の方はこの限りではありません。

	受付時間	月	火	水	木	金	土
胃腸・肛門外科	8:30~11:30	●	●	●	●	●	
	8:30~12:00						●
	14:00~16:00	●	●	●	●	●	

その他の診療科	受付時間	月	火	水	木	金	土
IBD(炎症性腸疾患) 外来	8:30~11:30				●		●
ヘルニア外来			●				●
排便機能外来							●
内科相談				●			
泌尿器科相談	14:00~15:00		●				
ストーマ外来			●	●		●	
女性専門外来		●					
血管外来					●		



特定医療法人
社団 松愛会

松田病院

〒432-8061 浜松市西区入野町753番地
TEL.053-448-5121(代) FAX.053-448-9753

JR=浜松駅下車 タクシーで10分 高塚駅下車 タクシーで5分
バス=浜松駅バスターミナル5番ポール(宇布見、山崎行)乗車
東彦尾または西郵便局下車 徒歩5分 駐車場 180台

E-mail cra@matsuda-hp.or.jp

ホームページ https://www.matsuda-hp.or.jp

(発行/松田病院広報委員会)